

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

2012.9.15|土| - 9.30|日|

汗かくメディア2012

| 受賞作品公開展示 |



ヒトフデ(人筆)
石原由貴

上部に取り付けられたカメラで人の動きを感じ、その跡をプロジェクタで映し出します。カメラが捉えた自身がそのまま描画されるため、自分が着ているものや動きによって残る跡が変化します。自身が意思のある「筆」となり、体全体を自由に動かしてオリジナルの跡を残すことができるのです。さあ、この大きなキャンバスに飛び込んでみてください。

石原由貴：
1990年愛知県生まれ。名古屋市立大学芸術工学部在学。動くものが大好きで、そうした作品を探すうちにメディアアートに出会う。最近では電子工作にも触れはじめ、変わった入力方法を備えた作品の制作を試みている。



ピカピカトランポリン
NODE

ジャンプすることで音と映像が変化するトランポリンです。高く飛んだり、何人かでジャンプすることで音と映像が変わっていきます。日常ではあまり使わない「跳躍」というアクションに焦点をあてて制作を行いました。

NODE：
メディアアート、メディアデザインを軸に活動を行うメディアクリエイションコミュニティ。先端メディアやテクノロジーを使った表現活動やワークショップを通じてメディア芸術文化の向上を目指す。2011年より発足。
メンバー：河村陽介、加藤良将、中上淳二、水谷賢太郎、Kim Hoonida、Phirip (<http://www.node-lab.org/>)



ほしむすび
チームとどる

〈ほしむすび〉は文字どおり、夜空に浮かぶ星と星をつなげていく遊びです。ふわふわと動く星にさわると、さわられた星どうしが線でつながれていきます。みんなで協力してなるべくたくさんの星をつなげていくことで、空いっぱい星座が広がります。星をつかまえるために「からだ」を、みんなで協力するために「こころ」を使います。「全身で遊ぶ」がコンセプトです。

チームとどる：
井上舞香、岡ひかり、小林知史、中山泰徳、平澤佑果、山田雄、津坂真有(プログラム担当)、愛知県の大学で学ぶ学生7人のユニット。デザイナーを目指し、日々、様々な事に挑戦中。

| 2011年受賞者による特別プログラム |



「十一∞」河村み 実施日/9.15,16,17,22,23

前回の作品(ビューテレス)は、子ども達が遊んでいるセンターの風景を映像で撮り、壁に映し出し、その映像の中の建物の丸、三角、四角といった形を見つけてなぞるという遊びでした。今回は、その作品から発想した「十一∞」という作品です。画面の中の図像を、足したり(+)、引いたり(-)、無限(∞)に変えていくことをします。

河村み：1980年愛知県生まれ。主に場所や人との関係性の中から見えてくる、存在するものあり方を考え、自身を設置するパフォーマンスや映像を使ったインスタレーションを展開しています。

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター



〒480-1342
愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1
TEL 0561-63-1110
<http://www.acc-aichi.org/>

開館時間 = 9:00 - 17:00
入場料 = 中学生以下無料、その他300円

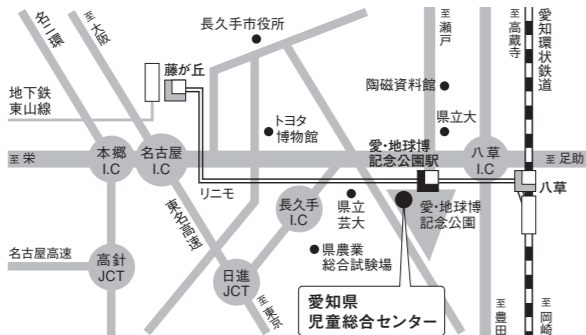
9月の休館日 = 3, 10, 18, 24日
10月の休館日 = 1, 9, 15, 22, 29日
11月の休館日 = 5, 12, 19, 26日

公共交通機関で…

地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
リニモ「愛・地球博記念公園駅」下車

車で…

東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ 愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



アートと遊びと子どもをつなぐ
メディアプログラム

汗かくメディア2012

| 受賞作品公開展示 |

2012.9.15|土| - 9.30|日|

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

開館時間：9:00-17:00 休館日：9.18(火)、24(月)

入場料：中学生以下無料、その他300円

主催：愛知県児童総合センター
(公益財団法人愛知公園協会)

愛知
県児童
総合センター

は、1996年の開館以来、「アートと遊びと子どもをつなぐプログラム開発」として、子どもたちがアートを介して、五感を駆使し、新たな《人・環境・素材・発想》と交流する「遊具」や「遊びのプログラム」を全国公募してきました。

私たちがアートに着目したのは、アートに内在する、固定観念を問い直し自由に発想し表現する姿勢が、子どもの成長の力となる「遊び」と多くの共通点を持つと考えるからです。2007年からは、「アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム」として、子どもたちをキーボードやディスプレイに貼りつけてしまうのではなく、むしろそこから開放し、汗をかきながら、身体全体で現実の新しい世界に主体的に関わっていきけるような「メディアプログラム」を全国公募しています。今年も、全国から29の提案をいただきました。選考会によって決定した3点の「汗かくメディア賞」を公開展示します。「愛知発・世界で初めての遊び」を体験してください。

子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter vol. 9

2012 秋

アートと遊びと子どもをつなぐメディアプログラム

汗かくメディア2012

| 受賞作品公開展示 |

第12回
全国児童館・児童クラブ
あいち大会

畑プロジェクト

子育てのおはなし 第9話

ACCのココがすき!

考え中

募集とお知らせ

第12回 全国児童館・児童クラブ あいち大会

この第12回全国児童館・児童クラブあいち大会は、全国におよそ25,000ある児童館・児童クラブの職員が集まり、人が互いに向き合い、気持ちを伝え、受け止めることの大切さを、そして児童館・児童クラブで子どもに関わっている支援者としての専門性やプロ意識を掘り下げ考える2日間になります。親子で全国の様々な遊びが体験できる「出前じどうかんーみんなのあそびばー」もオープンしますので、みなさん、ぜひご参加ください。



親子のみなさん



出前じどうかんーみんなのあそびばー

「日本のどまん中であそびを叫ぼう!!」

日時：10.27(土) 10:00～15:00
会場：JRセントラルタワーズ タワーズガーデン
参加無料

名古屋駅前に、親子で楽しむことができる「出前じどうかんーみんなのあそびばー」がオープンします。全国各地の児童館・児童クラブのスタッフがイチオシする遊びが大集合。身近な材料を使った工作や親子で楽しめるゲームなどに参加できます。

児童館・児童クラブ職員

日時：10.27(土) 10:00～18:00 会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
10.28(日) 9:30～13:00 参加費：両日5,000円(いずれか1日のみ3,000円)

基調講演

「笑顔で接すれば笑顔が返ってくる
～テーマパークのホスピタリティ～」

JSパートナー株式会社 代表取締役 福島文二郎さん
日時：10.27(土) 13:15～14:15



人に対するプロとして、重要なキーになるホスピタリティとは何か…。ビジネスの世界だけでなく、児童館・児童クラブでホスピタリティ・スキルを活かしてみませんか。

出前じどうかんーまなびのあそびばー

「あそびのB級グルメコンテスト」

日時：10.27(土) 10:00～12:00
全国各地から会場いっぱい遊びが大集合!! 自慢の遊びのプログラム、こだわりのネタ、遊びのコツを楽しく学び、オリジナルの賞に投票します。

詳しい開催要項・参加申込書は、こちらからダウンロードできます。

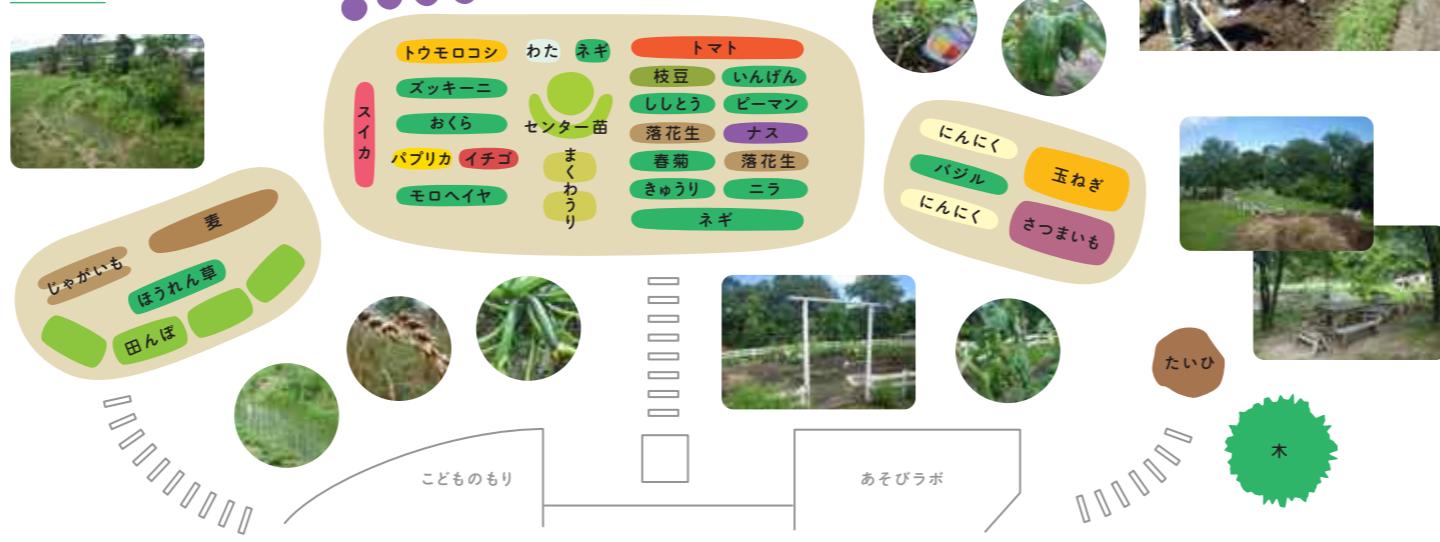
▶▶▶ <http://www.acc-aichi.org/2012blog/pdf/youkou.pdf>

問合せ 第12回全国児童館・児童クラブあいち大会事務局(愛知県児童総合センター内)
tel: 0561-63-1110 mail: switch-on@acc-aichi.org
<http://www.acc-aichi.org/2012blog/>

検索 Q 児童館あいち大会



畑マップ



活動の流れ



この看板が活動中の目印です。この日の活動のメインは「むぎをかる」。



〇対象 … 5歳以上(大人といっしょに参加してください) 〇定員 … 最大50名程度
〇申込方法 … 電話または来館時に、参加者の氏名・学年・性別・郵便番号 住所・電話番号をお知らせください。(当日申し込み可)
〇実施日時 … 毎週土曜日10:00～13:00(参加できる日のみで結構です。)(雨天中止)
※なお、特別企画の初日などお休みする場合があります。

「ACCC 畑プロジェクト」は、2009年に春季特別企画(親子であそぶ「つなげる・つながる」)の企画の一つとして実施したことをきっかけに、「あいち子どもクリエイティブクラブ(ACCC)」の中の新たな事業として、実験的にスタートさせました。外のひろばに畑や庭などの環境をつくり、種まき、栽培、収穫、調理、食事などの体験とおして、私たち生きものと太陽、空気、水、土とのつながりや、植物が成長するゆるやかな時間を感じることが大きなテーマです。立案者である石井晴雄・環境メディア研究会の協力以外には、特に専門家に依頼や指導を頼まず、「うまく育たなくて収穫ができなくてもよい」くらいの気持ちで、「結果よりその過程を重視」した活動となるよう心がけています。

作業に打ち込んだり、大人が使うような道具に触れてうれしそうだったり、ずっと草むしりをしたりひたすら虫をさがしまわったり、突然落とし穴を掘りだしたり、みんなで鬼ごっこを始めたたり、収穫や料理に張り切って参加したりと、メンバーは思い思いにとでも豊かな表情をみせます。畑の作物は予想以上に順調に成長し、多くの収穫を得ることができています。当初試食程度だった調理が、だんだんと幅も広がり「食べる」ことまで発展し、新たな畑づくりや屋外でも調理できるような窯づくりに挑戦するなど、活動が広がっています。

※「あいち子どもクリエイティブクラブ(ACCC)」様々な「もの」や「こと」、「ひと」の出会いとおして、子どもの主体性や創造的体験、異年齢の子ども同士との交流を促し、児童の健全育成を図ることを目的とするクラブ活動です。



インタビュー

参加のきっかけや感想を聞きました。

収穫も、調理も、食べるのも、どれも楽しかったです。(久保空太くん)
すべての食べものにいろいろな手間があることを理解させる良いきっかけだと思います。育てる手間も家庭で教えてみようかと考えています。(久保空太くん)

料理ができて収穫ができて、家でできないから。(笠原悠ちゃん)
他の子どもといっしょに土をいじったり料理をしたりと、普段体験しないことができるのが良いです。四季を感じられるのも良いです。(笠原昌史さん)

子どもや大人とともに作物を育て、食べるという行為で生命の循環を感じる体験をしたいと考え参加を希望しました。毎回、作物の成長に驚き感動しつつ皆さんと活動しています。(ポランティアスタッフ)

information

ボランティア募集

メンバーといっしょに土をさわりながら、ゆっくりのんびり楽しんでもらえるボランティアを募集します。活動日は木曜日と土曜日、詳しくは電話でお問い合わせください。電話 0561-63-1110

子育てのおはなし

臨床心理士 後藤かをり

第9話

少し離れてみる

2歳前後の子どもを見ていると、本当に一生懸命生きているのを、とてもかわいらしく、いとおしく感じます。…なんて言えるのは、私がお子さまとの直接の密着した関係の中に入らないからです。

この立ち位置から見ると、スーパーの中で、「カートに座らない」と身をくねらせて逃げ回る子ども、靴をはこうとすまじくかかなくて、でもママに手伝ってもらっては嫌で、ワーンと泣いている子ども、どの子にも「ガンバレ、ガンバレ!」とエールを送りたくります。当事者のお母さんお父さんはほんとに大変なのに…。

2歳くらいからを、この頃は「いやいや期」と呼ぶんですね、いいネーミングだと思います。「期」というからには、いつまでも続かないのですし、この「イヤ!」ということを大切にしていこうという気持ちも感じられます。

赤ちゃんの時に十分にお母さんやお父さんに愛されて「私は大丈夫」と感じられたこの時期の子どもたちは、自分で動ける自由さも得て、あちこち探索に出かけます。あれもしてみたい、これも見てみたい、触ってみたい…。でも悲しいかな、まだ自分の思うように手先は動いてくれないし、気持ちも話せない。

したいこととできることのギャップが大きいのです。思うようにいかなくて、ギョーギョー泣く子。ああしてもダメ、こうしてもダメ。周りの目はあるし、もうこちらが泣きたいぐらい。

こんな時、少し離れてみることをお勧めします。ひとつは物理的に。子どもの安全が確認できたら、少し離れてみる、違う方を見る、日頃から誰かに預けて離れる時間を持つ…。そしてもう一つは精神的に。こんな経験ありませんか? 駄々をこねているママ友の子や、全く知らない子を見ていると、その子が何をたくて、何が言いたくて駄々をこねているかよくわかる…。そうなんです、少し離れた関係の中では、見えることがあるのです。

よその子を見ることで、自分の子の言いたいことに気づくこともあります。ぴたりくつついた親子の間に、少しさわやかな風を入れてみましょう。

ACCのココがすき!

ハンティングワードで遊んでいる親子にきました!



チャレンジタワーが楽しいです。長谷川直子さん
ハンティングワード! 長谷川龍也くん
ロボットシアターがすきです。長谷川登さん(守山区)



影をさわって、体を使って遊べるころ。杉山雅子さん
全部! 杉山恵仁ちゃん
黄色の橋とズレテレビがおもしろい! 杉山仁香ちゃん
他にはない遊び場があるところ。杉山真一さん(中川区)

考え中

これからセンターで何としたいか、何を少しだけ変えたいか

「文字・数字・記号」というセンター初のテーマでの冬の企画

を計画中です!

募集とお知らせ

祖父母カアップ事業

「祖父母だからこそ」「年を重ねたからこそ」そんな前向きな気持ちでとても素敵なお話。今回は、自分らしく孫とかかわり、ふれあい、伝えていくヒントを2回連続の講座をおとして考えます。周りにあふれるたくさんの子育て・孫育てや支援の情報。今何が「本当に大切なこと」なのでしょう?」

開催日時:
第1回 10月 2日(火)13:30～15:00
第2回 10月10日(水)13:30～15:00
講師:後藤かをりさん(臨床心理士)
対象:おじいちゃん、おばあちゃん
定員:15名 参加費:無料
(児童総合センター入場料300円が必要)
申込方法:8月1日から電話にて受付開始
電話0561-63-1110

親子であそぶ トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい!」を合言葉に、小さな子どもと「お母さんやお父さん」が楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的な遊びを中心に、いろいろな遊びを親子で体験します。

開催日:毎週水曜日(特別企画中はお休み、次回は9月5日)
対象:1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員:15組程度 参加費:無料
(児童総合センター入場料300円が必要)
参加方法:プログラム開始30分前から1Fインフォメーションで受付。
定員になり次第終了
※開催時間については、HPをご確認ください。

移動児童館・ゆめたま号 9月～11月の開催地決定

児童総合センターの遊びを「ゆめたま号」に乗せて児童館へ運び、現地のスタッフも加わって地域の子どもと大人と一緒に遊ぶプログラムです。遊びをおして、たくさんのお出迎えを楽しみにしています。※参加につきましては、各施設へお問い合わせください。

リニモたんけん隊に行ってきました!

7月7日(土)に「リニモたんけん隊」を実施しました。リニモに乗ってリニモ車両基地へ行き、動く仕組みのお話や運行システムを興味深く見学しました。続いて車両基地で実際のリニモを見ながら詳しい説明を聞きました。熱心に聞き入る子どもたち、お父さんやお母さんも興味津々です。>>次回は、10月6日(土)開催予定です。

問合せ 愛知県児童総合センター tel: 0561-63-1110 <http://www.acc-aichi.org/>

※プログラムは予告なく変更することがありますので、詳しくHPをご確認ください。